

【企業経営に対する健康経営の効果について】

エー・アンド・デイは、健康経営を推進することで社員がより仕事へのやりがいを感じ、より一人ひとりの生産性が高まることを期待しています。

仕事へのやりがいについては、2023年度のストレスチェックの評価項目「仕事に満足だ」について、「満足」「まあ満足」（以下ポジティブな回答）の割合が、65.3%と前年度と比べ若干減っています。もう一つの評価項目「働きがいのある仕事だ」について、ポジティブな回答の割合69.8%と前年度と同値で推移しています。

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
「仕事に満足だ」について、「満足」「まあ満足」と回答した割合	65.3%	63.2%	66.0%	64.8%	66.6%	65.3%
「働き甲斐のある仕事だ」について、「満足」「まあ満足」と回答した割合	71.2%	70.8%	68.1%	67.9%	69.8%	69.8%

一人ひとりの生産性について、ワークエンゲイジメント・プレゼンティーズム・アブセンティーズム等の指標を用いて、仕事へのやりがい・一人ひとりの生産性を測定し、健康経営の効果を継続的に評価していきます。

（2023年度のワーク・エンゲイジメントスコアは3.2点、プレゼンティーズムは80%、アブセンティーズムは1.6日）

【健康課題の改善に関して】

生活習慣病予防においては、健康診断の有所見者への受診状況の確認や生活習慣の改善提案を個別に行っています。また、自社の血圧計を事業所内に設置し職場でも気軽に測定できるようにしています。社員食堂においては、ヘルシー会議を実施し、食堂スタッフ協力のもと減塩や栄養バランスを考慮した健康的なメニュー（スマートミール）を毎日提供しています。

メンタルヘルス対策では、ストレスチェックの受験率は啓発や受験勧奨により9割を維持しています。高ストレス者は14.5%と上昇しており、産業医や保健師による個別の健康相談とともにセルフケアや管理職によるケア、職場環境改善等、予防の取り組みにも重点を置く必要があります。

働き方改革の推進においては、長時間労働による健康障害を防ぐために、水・金曜日をノー残業デーとし、月平均の残業時間は20時間未満で推移しています。また、地域限定総合職を導入し、多様な働き方を選択できる取り組みを進めています。

今後も取り組みについては、継続的な評価・改善・見直しを行いながら、より効果的な施策を実行し、健康経営を実現していきます。